

声に出して

シェイクスピア

ロマンス劇編その1 『テンペスト』

7/18, 25, 8/1, 22, 29 (いずれも木曜、全5回)

各回とも午後6時より午後8時。全回受講が原則。

やむをえぬ事情による欠席や遅刻は、できるかぎり対応いたします。

2017年度より始まった東京工業大学のシェイクスピア・ワークショップも、早くも4回目を迎えました。一方的に講師の話をお聴きだけでなく、日本語訳であっても台詞を暗記して人前で演じてみることで、受講者のみなさんにシェイクスピア戯曲の演劇としての魅力を身体で感じていただけているように思います。

今回は、シェイクスピアの最晩年の戯曲『テンペスト』を取り上げます。魔法を自在に操るプロスペローが支配する孤島を舞台に、仇敵への復讐と若い男女の恋愛が互いに交錯しながら進行します。妖精や怪物も登場する楽しく華やかな作品ですが、そこには西洋人による先住民支配という影も差しているようです。

この作品を俳優の下総源太郎さんの指導のもと、本学の小泉勇人准教授の解説つきで声に出して読み、演じてみましょう。前回までのワークショップと同じく、最終回に小さな発表会を開く予定です。

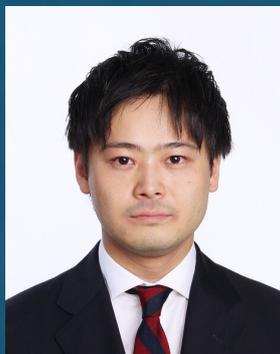
コーディネーター：谷岡健彦（本学教授）

講師



下総源太郎（俳優）

1980年代から数多くの話題作に出演し、独自の存在感を放つ。多数の海外公演も経験。おもな舞台出演に新国立劇場『東海道四谷怪談』、『ヘンリー四世』、『君が人生の時』、『ヘンリー五世』、『オレステイア』、静岡芸術劇場『忠臣蔵』、『室内』など。昨年のNHK大河ドラマ『西郷どん』にも出演。



小泉勇人（本学准教授）

早稲田大学文学研究科にてシェイクスピア劇を研究、2015年にロンドン大学にて修士号を取得。2017年4月より東京工業大学リベラルアーツ研究教育院・外国語セクションに着任。シェイクスピア映画を中心に研究し、映画を用いた大学英語教育にも関心がある。

会場：東京工業大学大岡山キャンパス
西9号館7階714教室（土足禁止の教室です）

対象：本学学生、教職員、一般

受講料：全5回 4,000円（本学学生、教職員は無料）

定員：30名

（要事前予約。7月1日（月）より受付開始、先着順）

★テキスト『テンペスト』（小田島雄志訳、白水社刊、本体価格850円）は開講日までに各自でご用意ください。

★演技の練習もいたしますので、動きやすい服装でお越しください（更衣スペースもご用意いたします）。



予約・問合せ：リベラルアーツ研究教育院文系教養事務

電話：03-5734-7689（平日9:30～16:00）

e-mail：ilasym@ila.titech.ac.jp

メールでの申し込みはこちら

